

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (地すべり防止)	事業実施計画期間	平成25年～平成34年度(10年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	じぞうとうげ 地蔵峠 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南部の伊那山脈と赤石山脈に挟まれた茶臼山山塊の西側斜面に位置している。</p> <p>地質的には中央構造線の真上に位置しているため、亀裂の多い脆弱な地質構造を構成しており、中央構造線を中心に西側には領家帯変成岩類が、東側には三波川帯変成岩類が分布している。</p> <p>当地区は、平成13年8月下旬に台風災害により被災した後、平成15年度まで治山対策が実施された。しかし、平成17年の融雪期に地すべりが発生し、道路が15cm沈下する等市の道路施設に被害を及ぼした。その後も、平成22年7月下旬の梅雨前線集中豪雨によりふたたび地すべりが活動し道路施設等に被害を与えた。</p> <p>市道上村4号線は大鹿村と飯田市上村地区を結ぶ唯一の道路であり、国道152号線の代替え道路として広く利用されている。そのため、地元から強くその対策を要望されている。今後の融雪や集中豪雨等により地すべり被害が拡大し、流出した土砂が上村川を閉塞させる恐れがある。</p> <p>このため、地すべり防止対策の実施により、地すべり活動の沈静化を図り、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的とし本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 集水井工31基 地上集水ボーリング3群 水路工700m 主な保全対象 市道 350m 総事業費 1,600,000 千円</p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	1,690,706	千円
	総 費 用 (C)	1,297,375	千円
	分析結果 (B / C)	1.30	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められること、地元の強い要望もあることから、本事業を実施することが妥当と判断される。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現在も地すべりが進行しており、放置すると今後の融雪、集中豪雨等の際に地すべり活動が活発化し、下流域に被害を与える恐れが高い。このため、対策工の施工により下流域の保全を図るものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性 対策工の計画に当たっては、現地状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で計画されており、費用対効果分析結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、地すべり活動が沈静化し、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 		

様式1

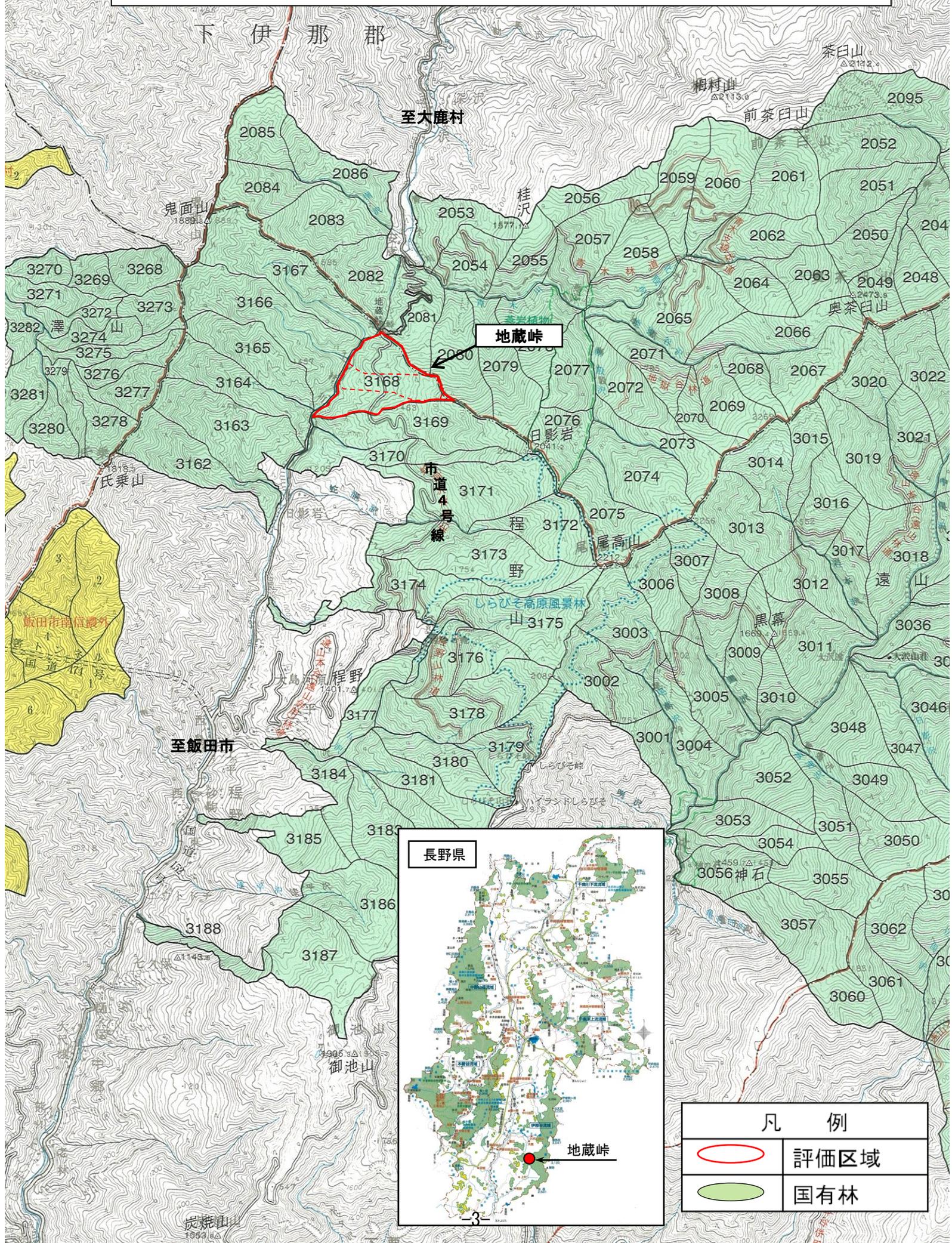
便 益 集 計 表
(治山事業)

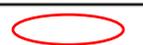
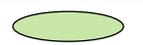
事業名：地すべり防止
施行箇所：地蔵峠

都道府県名：長野
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,446,210	
	土砂崩壊防止便益	240,276	
環境保全便益	炭素固定便益	4,220	
総 便 益 (B)		1,690,706	
総 費 用 (C)		1,297,375	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,690,706}{1,297,375} = 1.30$		

国有林直轄治山事業 地蔵峠地区(長野県) 概要図



凡 例	
	評価区域
	国有林